

研究機関：広島大学

研究課題名	薬毒物簡易検査キットの性能評価に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇
研究期間	2020年1月16日(倫理委員会承認後)～ 2023年3月31日
対象者	2012年1月から2022年9月30日までに、広島大学にて法医解剖された御遺体
意義・目的	<p>近年、麻薬や覚せい剤以外にも色々な薬物が乱用され、それが原因で薬物中毒や死亡するケースが増加しています。薬物中毒は、外見だけでは判断できないために、簡便かつ迅速な検査法の開発・供給が望まれています。本研究では、海外で薬物検査に利用されている尿中乱用薬物検出キット (SIGNIFY ER、Multi-Line Drug Screen、DRIVEN-FLOW、STATUS、IVexScreen、Quick Profile) の性能評価を行います。この成果は、薬物中毒の診断や犯罪捜査における薬物関与に貢献できるものと期待されます。</p>
方法	<p>本研究は、鑑定検査時に採取し、再鑑定用に保存されている試料の一部 (1mL 程度) を使用します。対象者から得る項目は、解剖記録から「服薬歴、解剖時の簡易薬物検査の結果 (既に薬物定量値がある場合はその結果も)」のみについての情報を取得し、個人の特定ができないように連結不可能匿名化を行います。試料を尿中乱用薬物検出キット (SIGNIFY ER、Multi-Line Drug Screen、DRIVEN-FLOW、STATUS、IVexScreen、Quick Profile) で検査し、薬物の有無を判定する同時に、同試料中の薬物を高速液体クロマトグラフ質量分析計などで同定・定量分析し、尿中乱用薬物検出キット (SIGNIFY ER、Multi-Line Drug Screen、DRIVEN-FLOW、STATUS、IVexScreen、Quick Profile) での検査の整合性を精査して性能を評価します。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 長尾正崇
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5172 広島大学大学院医系科学研究科 法医学 教授 奈女良 昭</p>